

人が集まる「人」をつくる、大学。



SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学



つむぐ、つながる、はばたく
SHIKOKU UNIVERSITY
1925 ▶ 2025 100th Anniversary

四国大学は、これまでの 100 年を礎に、これからの 100 年を創造します。

報道関係者 各位

令和 5 年 10 月 13 日

四国大学／四国大学短期大学部

学長 松重 和美

JICA「青年研修事業」の実施について

～ マレーシア自治体職員に「消費者行政及び消費者教育」を伝える ～

平素は本学の教育研究活動にご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、本学におきまして、独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」という。）の青年研修事業を実施する運びとなりました。

JICA「青年研修事業」とは、「アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東などの開発途上国の青年層を対象に、それぞれの国で必要とされている分野における日本の経験、技術を理解する基礎的な研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する事業」とされており、今回は、マレーシア自治体職員 19 名が消費者庁及び徳島県の政策・取組を学び、上板町の藍染産業や神山町サテライトオフィス等の視察を行うことで、「消費者行政及び消費者教育」について学びます。また、徳島県の企業や四国大学学生とも交流し、徳島県の人や文化とも触れ合っていたく予定です。

つきましては、次のとおり研修を行いますので、実施告知及び取材方ご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

記

■ 対象国と対象コース

対象国：マレーシア

対象コース：地方行政・消費者行政／教育

■ 研修の目的

消費者行政や消費者教育の分野における日本の国や地方自治体の取り組み、社会的背景や課題を理解する。また、地域活性化に取り組む多様な主体の取組視察や意見交換を通して、消費者行政が地方創生に与える影響について知見を得るとともに、それぞれの主体の連携や役割について理解すること。

■ 研修日時

令和 5 年 10 月 19 日（金）～11 月 2 日（木） ※徳島県滞在は 10/20 夕方以降

■ 取材可能日時、研修内容及び研修場所

・令和 5 年 10 月 21 日（土）

① 9:00～11:15 四国大学交流プラザ 5F フォーラムホーム

（講義）藍産業の変遷と地場産業の課題について

② 13:00～16:15 板野町「技の館」

（講義）藍染産業の現状と発展に向けて、（体験）藍染体験、上板熱中小学校参加者との交流

・令和 5 年 10 月 25 日（水）

- ① 9:00~9:45 神山町コンプレックス
（講義）サテライトオフィスの誘致と地方創生について
- ② 14:00~15:30 上勝町福原ふれあいセンター
（講義）持続可能な地域づくり、住民が支えるゼロ・ウェイストの仕組み
- ③ 15:40~16:50 上勝町ゼロ・ウェイストセンター
（視察）ゼロ・ウェイストセンター

・令和 5 年 10 月 26 日（木）

- ① 9:00~12:00 四国大学古川キャンパス(U154)
（講義）大学における社会連携活動や起業、四国大学の地域貢献活動について
- ② 14:40~16:00 四国大学古川キャンパス
（討議）国際文化学科学生との交流

・令和 5 年 10 月 27 日（金）

- ① 14:30~16:45 四国大学交流プラザ 4F 第 2 セミナー室
（講義）多様なステークホルダーが連携した地方創生の取組についてディスカッション
第一部 行政・教育の観点から
第二部 第二部 経済・地域の観点から

・令和 5 年 11 月 2 日（木）

- ① 13:00~15:30 四国大学交流プラザ 5F フォーラムホーム
（発表）アクションプラン発表会
- ② 16:30~17:00 四国大学交流プラザ 5F フォーラムホーム
（式典）閉講式

※ 研修員への取材について

通訳が同席致しますので、研修員への取材を行う場合は本学職員へお声がけください。

事前に質問内容がわかる場合は、先に質問内容等をご提供ください。事前に通訳担当と情報共有ができますので、円滑な取材対応が可能になるかと思います。

※ 上記日程以外の取材について

上記日程は、本学が取材窓口として対応可能な日となります。本研修では、徳島県知事表敬（10/23）や消費者情報センター視察（10/24）等もありますが、本学では取材可否含め、ご対応いたしかねますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

以上

< 本件に関する問合せ先 >

四国大学 大学広報戦略室 坂本
TEL 088-665-9578（平日 9 時～17 時）